

令和3年度 定時社員総会

日 時 令和3年5月17日（月）午後2時

場 所 サイプレスガーデンホテル
名古屋市熱田区金山町一丁目9番8号
Tel 052-679-1661 / Fax 052-679-1663

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目2番4号
アイディエリアビル 405
Tel 052-321-3803 / Fax 052-684-4238

表 彰 式 次 第

1 開 式

2 愛知県知事表彰

3 令和3年度正会員従業員表彰

4 令和3年度環境に関する喚起標語入選者表彰（特選のみ）

5 第5回写真コンテスト入選者表彰（金賞のみ）

6 受賞者代表謝辞

7 閉 式

愛知県知事表彰受賞者（計量関係功労者）

氏 名	所 属 事 業 所
牛古 誠	株式会社環境公害センター

（敬称略）

令和3年度正会員従業員表彰受賞者（9名）

氏 名	所 属 事 業 所
岡 島 達 也	株式会社環境公害センター
小 川 祥 真	株式会社愛研
加 藤 直 孝	株式会社テクノ中部
川 坂 英 輔	一般財団法人東海技術センター
佐 藤 勇 人	株式会社環境科学研究所
白 鳥 裕 佳	株式会社環境科学研究所
堀 富 美 子	株式会社エステム
真 弓 聡	株式会社テクノ中部
吉 見 依 理	株式会社イズミテック

（敬称略：五十音順）

令和3年度環境に関する喚起標語入選者

社会的関心が高まってきた「SDGs」をテーマとして喚起標語を募集したところ、101作品の応募があった。

区分	標語	氏名	所属
特選	環境測定 活かしてすすめる SDGs 未来へつなぐ 豊かな地球(ほし)を	中島 徹	(株)イズミテック
入選	基本を守ろう 環境計量 持続させよう 豊かな環境	伊藤 智	(株)環境科学研究所
入選	排水・排ガス・廃棄物 適切管理と削減に測って推進 SDGs	揖斐 恵美	(一財)東海技術センター
入選	(S)しっかり (D)大事に (G)厳格に (s)社会に貢献 環境計量	加藤 元	名南サービス(株)
入選	SDGs の実現目指して 正しい計量が繋げる 未来	加藤 良樹	(株)愛研
入選	良い暮らし 良い社会 測って築こう未来の地球	富村 大輔	中外テクノス(株)中部支社
入選	環境計量で 未来へ繋げる 豊かな環境	夏目 訓良	(株)東海分析化学研究所
入選	意識を変えて 行動変えて 計測でサポート SDGs	林 研一郎	(株)環境科学研究所
入選	正しい計量で守ろう水資源 未来へ残そう 豊かな自然	林 寛子	(株)環境科学研究所
入選	安心・安全・豊かな未来へ、本気で取り組む SDGs	廣中 邦多	(株)三進製作所
入選	豊かな環境をいつまでも 私たちの環境計量でつなぐ未来	余語 みどり	(株)環境科学研究所

(入選は、氏名(敬称略)の50音順)

第5回写真コンテスト入選者

従来的一般部門（テーマ「四季」）に加え、SNS映え部門（テーマは自由）を新設して作品を募集したところ、一般部門に28作品、SNS映え部門に14作品の応募があった。

<一般部門>

区分	題名	氏名	所属
金賞	清流、吉野川にて	各務 直之	三協熱研（株）
銀賞	あ、落ちた。	永井 健太郎	（一社）愛知県薬剤師会
入選	雨季雨季（ウキウキ）	杉戸 勇太	（株）環境科学研究所
入選	芝桜の絨毯と富士山	中島 徹	（株）イズミテック
入選	早春の溪	林 昌史	（株）環境科学研究所

（入選は、氏名（敬称略）の50音順）

<SNS映え部門>

区分	題名	氏名	所属
金賞	木漏れ日のスポットライト	佐藤 博	（株）イズミテック
銀賞	分析屋のSNS映え	安藤 正雄	（株）イズミテック
入選	心の癒し	近藤 淳子	（一財）東海技術センター
入選	海からの海	豊田 翠	（一財）東海技術センター
入選	夢が叶ったペンギン	丹川 幸久	（一財）東海技術センター

（入選は、氏名（敬称略）の50音順）

令和3年度 定時社員総会次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 来賓祝辞

4 議事録署名人の選出

5 議 事

(1) 第1号議案 令和2年度事業報告について

(2) 第2号議案 令和2年度収支決算について

(3) 第3号議案 令和3～4年度役員の選任について

(4) 第1号報告 令和3年度事業計画について

(5) 第2号報告 令和3年度収支予算について

6 その他

6 閉 会

7 特別講演

演題 「うまく話すことよりも大切なこと」

講師 有限会社^リ ^ー ^プ ^ラ _{LIBRA} 代表取締役 平野裕加里氏

第1号議案 令和2年度事業報告について

令和2年度の事業実績を以下のとおり報告しますので、ご審議をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した事業や、開催方法を変更※した事業もあります。

※ 従来の「会議形式・対面形式による開催」から「書面による開催」「オンライン形式による開催」に変更

これらの事業については、本文中にその旨記載（**中止**、**書面開催**、**オンライン形式**等）しました。

1 正会員数 66社（令和2年度末、年度当初は68社）

2 賛助会員数 16社（令和2年度末、年度当初は16社）

3 令和2年度定時社員総会 **書面開催**

令和2年5月25日（月）に、サイプレスガーデンホテルにおいて開催する予定であったが、第1回理事会（書面開催：4参照）の議決を踏まえ、総会決議事項である「令和元年度事業報告及び決算報告の承認」を議決権行使書面による表決に変更した。

なお、正会員従業員協会表彰等の各種表彰については、被表彰者の所属事業所においてそれぞれ挙行していただいた。

<議事経過>

- ・ 6月8日、正会員68社に議案書及び議決権行使書面を送付（提出期限は6月23日）。
- ・ 56社が議決権行使書面を提出（定款第27条に定める定足数を満たす）。
- ・ 56社全員が「議案に同意」したため、全会一致をもって議案は承認された。

4 理事会

開催日	議題
第1回理事会 2.4.14（火）※ 書面開催	1 令和2年度定時社員総会の開催方法について ※ 書面開催の場合の「開催日」は、「役員に議案をメール配信した日」を示す（以下同じ）。
第2回理事会 2.5.20（水） 書面開催	<報告事項> 1 令和元年度第6回理事会以降の事業報告 2 各委員会報告（景況調査結果を含む。） 3 令和2年度定時社員総会について 4 令和2年度行事予定について 5 愛環協ホームページの「会員リスト」について <審議事項> 1 令和元年度事業報告（案）及び収支決算（案）について 2 令和2年度「正会員従業員表彰」について 3 正会員及び賛助会員の退会について

<p>第3回理事会 2.7.17（金） （事務局で開催）</p>	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理事の退任について 2 前回理事会以降の事業報告 3 令和2年度定時社員総会（書面開催）の結果について 4 各委員会からの活動状況報告 <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後の協会の活動のあり方について 2 事務局のレンタルサーバー更新について <p><その他></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 愛知県との「災害時における化学物質等の調査に関する訓練」 2 新型コロナウイルス感染症緊急定点調査 3 第1回ブロック会議の開催方法について
<p>第4回理事会 2.10.7（水） 密状態回避のため、 日本特殊陶業市民会館 第2会議室で開催</p>	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会からの活動状況報告 <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度収支決算（中間報告）について 2 会員の入会及び退会等について
<p>第5回理事会 2.12.10（木） オンライン形式</p>	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会からの活動状況報告 <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「環境に関する喚起標語」の募集について 2 令和3・4年度の役員について 3 今後※の協会事業の方向性について <p>※ 特に令和2年度第4四半期及び令和3年度第1四半期</p>
<p>第6回理事会 3.3.15（月） オンライン形式</p>	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前回理事会以降の事業報告 2 各委員会からの活動状況報告 3 各ブロック会議（第2回）報告 4 令和3年度正会員従業員表彰 <p><審議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案） 2 令和3・4年度の役員 3 愛知県知事表彰（計量関係功労者・環境保全関係功労者） 4 「環境に関する喚起標語」の選考 <p><その他></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度定時社員総会の開催形態について

5 委員会活動

- (1) 総務委員会 開催回数 4回
- ア 令和2年度中に正会員2社の退会があり、理事会へ報告した。
 - イ 令和2年度「正会員従業員表彰」の候補者を選定した。
 - ウ 新型コロナウイルス定点アンケートを実施した（5・6・7・10月度の4回、5回目は景況調査に合わせて実施）。
 - エ 令和2年度景況調査を実施した。
 - オ 令和2年度特別企画セミナーを企画・開催した。
 - カ 令和3年度「環境に関する喚起標語」を募集した。
- (2) 企画・対外交流委員会 開催回数 3回
- ア 令和3年度定時社員総会における特別講演及び環境月間講演会の講師を選定した。
 - イ 令和2年度の定時社員総会における特別講演、環境月間講演会、施設見学会は、いずれも中止となった。。
- (3) 教育・研修委員会 開催回数 5回
- ア 精度管理研修会①（基礎統計コース）、精度管理研修会②（中堅実務コース）、環境測定分析新任者研修会及び環境計量士等研修会を企画・開催した（SOP研修会は開催を中止した）。
 - イ 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、研修会をオンライン開催するための体制を検討・構築し、新任者研修会及び環境計量士等研修会をオンラインで開催した。
- (4) 広報・ホームページ委員会 開催回数 4回
- ア 会報誌「あいかんきょう」第143、144、145、146号を編集・発行した。
 - イ 愛環協ホームページ（HP）を随時更新した。
 - ウ HPのリニューアルに向け、日環協との共同運営の検討など進め方を議論した
 - エ 「あいかんきょう」へのチラシ封入サービスを開始した（第143号から）。
- (5) 技術委員会 開催回数 3回
- ア 第1回共同実験（水質）を実施し、結果検討会をオンライン開催した。
 - イ 騒音・振動分野の勉強会及び大気・臭気WG勉強会をオンライン開催した。
 - ウ ガスマーターの自主検査を2回実施した。
- (6) 災害緊急時対応委員会 開催回数 3回
- ア 協定を締結している愛知県、豊橋市、岡崎市及び豊田市と、大規模地震による災害を想定した河川水環境調査の訓練をそれぞれ実施した。
 - イ 愛知県、県内市町村及び廃棄物関係団体が実施する災害廃棄物処理に関する図上演習に参加した。
 - ウ 「災害時相互応援協定」を締結している7県単（福島、埼玉、神奈川、横浜、愛知、大阪、堺の協議会）の意見交換会を開催した（今回は愛環協が事務局となり、オンライン開催）。

6 研修会等実施状況

研修会等の名称 (開催場所)	開催日 (参加者数)	演題及び講師(敬称略)
環境月間講演会	中止	(開催予定日は2.6.19)
精度管理研修会① 【基礎統計コース】 (日本特殊陶業市民会館第2 会議室)	2.7.9(木) (15名)	<p>※ 従来の「初級統計研修会」を改称</p> <p>※ 以下の感染防止対策を徹底した上で、 対面形式により開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 募集人員を会場定員の半数に制限 2. 感染防止対策を記載した文書を受講者に事前配付し注意喚起 3. 出入口と一部の窓を開放し常時換気 4. 全員マスク着用とし、会場入口で検温と消毒の実施 等 <p>1. 「基本統計量」 (株)東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良</p> <p>2. 「検定」 (株)ユニケミー ものづくり支援技術部 部長 今井 尚洋</p> <p>3. 「外れ値の検定」 (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部 主査 小林 高志</p>
精度管理研修会② 【中堅実務コース】 (日本特殊陶業市民会館第2 会議室)	2.9.17(木) (8名)	<p>※ 従来の「中堅実務者研修会」を改称</p> <p>※ 精度管理研修会①と同様の感染防止対策を徹底した上で、対面形式により開催 (例年実施している交流会は中止)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「環境分析及びサンプリングにおける 精度管理」 (一社)愛知県薬剤師会 衛生試験部 主査 小林 高志 2. 「機器分析の精度管理」 (一財)東海技術センター 調査分析事業部長 土屋 忍

	<p>2.9.18 (金) (8名)</p>	<p>3. 「環境法令について」 (一財) 東海技術センター 参与 菊谷 彰</p> <p>4. 「数値の扱い方、下限、妥当性及び 基本統計量」 (株) 東海分析化学研究所 食品検査室室長 夏目 訓良</p> <p>5. 「相関分析・回帰分析」 愛知県立岡崎工業高等学校 教諭 井上 満</p> <p>6. 「不確かさの検出」 (株) 環境科学研究所 環境部次長 牧原 大</p>
<p>環境測定分析新任者研修会 オンライン形式</p>	<p>2.10.28 (木) (33名)</p>	<p>※ 当初は6月5日に開催予定であったのを一旦中止し、開催時期・方法を模索 9月以降、感染者数が増加傾向に転じ 対面形式では参加者が集まらないことが 想定されるため、愛環協として初めての オンライン形式で開催することを決定</p> <p>I 「環境計量の仕事とは」 (一財) 東海技術センター 参与 菊谷 彰</p> <p>II 「労働安全衛生」 (株) 大同分析リサーチ 環境測定事業部 専門部長 新谷 良英</p> <p>III 「精度よい測定のために」</p> <p>1. サンプリングの基礎</p> <p>2. 分析技術－化学分析－ (株) テクノ中部 測定分析センター 測定グループ長 清水 久博</p> <p>3. 分析技術－機器分析－</p> <p>4. トレーサビリティ</p> <p>5. 標準物質</p> <p>6. データの取扱 (株) 環境科学研究所 環境部次長 牧原 大</p>

<p>環境計量士等研修会</p> <p style="text-align: center;">オンライン形式</p>	<p>2.11.20 (金)</p> <p>(21名)</p>	<p>1.「愛知県における土壌汚染対策及びカドミウム等の基準値見直しについて」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 課長補佐 高橋 真人</p> <p>2.「愛知県における水循環再生の取組について」 愛知県環境局環境政策部水大気環境課 課長補佐 松下 卓広</p> <p>3.「キログラムとモルの新しい定義」 国立研究開発法人産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 質量標準研究グループ長 倉本 直樹</p> <p>4.「イノチオグループにおけるSDGs志向型経営の実践」 イノチオホールディングス(株) 取締役執行役員 石黒 康平</p> <p>5.「技術情報(湿式酸分解の基礎と操作上の注意点)」 ジーエルサイエンス(株) 小野 壮登</p> <p>6.「製品紹介(無機分析前処理装置と自動化への対応)」 ジーエルサイエンス(株) 小野 壮登</p>
<p>第1回共同実験結果検討会</p> <p style="text-align: center;">オンライン形式</p>	<p>2.12.8 (火)</p> <p>(27名)</p>	<p>「模擬排水中COD (Mn) 及びBODの分析」 (株)愛研 石神 昇</p>
<p>SOP (標準作業手順書) 研修会</p>	<p style="text-align: center;">中止</p>	<p>(開催予定日は3.1.20) SOP作成実習等オンラインでの開催が難しい課題があること、「緊急事態宣言」発令の可能性があることから、中止を決定</p>
<p>騒音・振動分野の勉強会</p> <p style="text-align: center;">オンライン形式</p>	<p>3.2.17 (水)</p> <p>(14名)</p>	<p>1.基礎講義:「周波数分析について」 リオン(株)東海営業所長 渡辺光帆</p> <p>2.「騒音・振動に関する業務実施事例等の紹介」 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)名古屋支店 道路技術部道路技術第一課 志賀 政雄</p>

大気・臭気WG勉強会 オンライン形式	3. 3. 18 (木) (14名)	1. 「GCMSの基礎」 2. 「大気・におい分析ソリューション」 (株)島津製作所 分析計測事業部
特別企画セミナー オンライン形式	3. 3. 19 (金) (37名)	1. 「計量証明事業所への立入り検査について～最新情報～」 愛知県経済産業局中小企業部商業流通課 担当課長 中村 亮 2. 「災害対策における環境計量証明事業者の連携について」 愛環協理事 災害緊急時対応委員長 林 昌史 3. 「賛助会員によるプレゼンテーション (製品紹介・技術紹介)」 ① ビーエルテック(株) ② 三浦工業(株) ③ ラボテック(株)

7 広報活動

(1) 環境保全の必要性及び重要性を広報するとともに、関係機関が開催する行事に積極的に参加した。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

号	発行月日	主 な 記 事
143	2. 4. 20	委員会活動報告 「SOP研修会」受講報告 教育研修委員会活動を振り返って 「日環協経営セミナー」報告 私の趣味 環境・時の話題「リチウムイオン電池」 令和2年度「環境に関する環境標語」入選作品紹介 事務局からのお知らせ
144	2. 7. 20	令和2年度定時社員総会報告 委員会活動報告 令和元年度景況調査結果報告 新型コロナウイルス定点アンケート結果報告(令和2年5月分) 教育研修委員会活動を振り返って 環境・時の話題「ビール」 事務局からのお知らせ

145	2.10.20	大規模地震災害を想定した河川水環境調査訓練 委員会活動報告 ブロック会議報告 「精度管理研修会①（基礎統計コース）」研修報告 新型コロナウイルス定点アンケート結果報告（令和2年5～7月分） 教育研修委員会活動を振り返って 私の趣味 環境・時の話題「洪水災害の予測」 事務局からのお知らせ
146	3.1.1	年頭挨拶（会長、愛知県知事） 委員会活動報告 「災害時相互応援協定 意見交換会」開催報告 新型コロナウイルス定点アンケート結果報告（令和2年10月分） オンライン研修会実施に向けた舞台裏 「精度管理研修会②（中堅実務コース）」研修報告 「環境測定分析新任者研修会」研修報告 環境・時の話題「クリスパーキャス9」 事務局からのお知らせ

(3) 情報提供

環境測定分析に関して収集した情報を、情報提供を申し込んだ会員28社に随時送付した。

8 共同実験（クロスチェック）

日環協中部支部との共催事業として実施した。

なお、第2回共同実験（騒音・振動）は、勉強会（R 3. 2.17）に振り替えたため、実施しなかった。

	内 容	実 施 日	参加社数	うち県外
第1回共同実験 （水質）	模擬排水中COD（Mn）及びBODの分析	R 2. 7. 8	51社 （53口）	14社 （15口）
	結果検討会 オンライン形式	R 2.12. 8	27名	7名

9 環境相談窓口の設置委員会活動

県民からの分析機関の照会や環境に関する相談に対応した。

1.0 関係行政機関への協力

- (1) 愛環協が、愛知県、豊橋市、岡崎市及び豊田市とそれぞれ締結している協定に基づき、大規模地震による災害を想定した河川水環境調査の訓練（8月31日）に参加した。
- (2) 例年実施している次の事業への協賛・協力は、主催者が中止を決定したため、実施できなかった。
 - ア 愛・地球博記念公園における「自然体験プログラム」（ゴールデンウィーク特別企画）への協賛
 - イ 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析部門）」愛知県大会への協力（分析試料の提供及び表彰状の作成）

1.1 測定済証紙の斡旋

令和2年度には、次のとおり計 830 枚を斡旋した。

水質	172 枚
排ガス	615 枚
騒音	43 枚
<hr/>	
計	830 枚

1.2 ガスメーター自主検査

機器管理基準に基づくガスメーターの自主検査を、(株)テクノ中部の協力により2回実施し、計39台の検査を実施した。

第1回	令和2年7月6日(月)～7月15日(水)	受検台数	24 台
第2回	令和3年1月6日(水)～1月15日(金)	受検台数	15 台
		<hr/>	
		計	39 台

1.3 愛知県知事表彰

環境保全関係功労者として、大野哲氏（(株)イズミテック）が表彰された。

県庁における表彰式が中止されたため、令和2年6月10日（水）に事務局において、愛知県環境局環境政策部環境活動推進課の谷口亮課長から表彰状が授与された。

1.4 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員10名を、令和2年度定時社員総会において表彰する予定であったが、総会が書面開催になったため、表彰式については、受賞者の所属事業所においてそれぞれ挙行していただいた。

受賞者（氏名の五十音順、敬称略）

氏 名	所 属 事 業 所
大森 邦弘	株式会社ユニケミー
川崎 彩夏	株式会社イズミテック
岸名 亜紀子	株式会社テクノ中部
澤向 詩織	株式会社環境公害センター
志水 勝亮	株式会社大同分析リサーチ
杉浦 健太郎	株式会社愛研
戸水 雅美子	三協熱研株式会社
丹川 幸久	一般財団法人東海技術センター
三宅 直也	株式会社環境科学研究所
森下 聡	株式会社テクノ中部

1.5 令和3年度環境に係る喚起標語の募集及び活用

社会的関心が高まってきた「SDGs」をテーマとして喚起標語を募集したところ、14社から101作品の応募があった。この中から特選1作品及び入選10作品を選出し、特選作品については、令和3年度の愛環協喚起標語としてポスターを作成の上、会員事業所に配付した。（入選者及び作品一覧は表彰式関係のページに掲載）

1.6 ブロック会議 **書面開催**、**オンライン形式**

理事会審議事項の伝達、各会員の近況報告、その他関心事項など、会員相互の情報交換や意思疎通を図るとともに、協会事業の周知と協会に対する要望事項を聴取するため、例年、5つのブロックごとに年2回開催しているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、第1回会議（9～10月）は書面開催とし、第2回会議（2月）はオンライン形式で開催した（複数ブロック合同）。

1.7 関係団体活動

(1) 一般社団法人日本環境測定分析協会中部支部

次の事業を、中部支部と共催で実施（一部の研修会は中部支部から受託）した。

ア 共同実験（1回）

イ 各種研修会

(2) 石川県環境計量協会

同協会主催の「環境計量技術研修会」には例年、技術委員を講師として派遣しているが、2年度は集会形式の研修会が中止されたため、研修会で使用する予定だった資料を技術委員会から提供した。

(3) 愛知県計量連合会

県内計量関係団体の一員として、業務の連絡をした。

(4) 中部環境計量士会と連携・協調した。

※ なお、令和2年度の収支決算は、12ページからの「第2号議案 令和2年度収支決算について」のとおりであり、本報告と合わせて令和3年4月13日（火）に会計監査を受けました（「監査報告書」は15ページに添付してあります）。

併せてご審議をお願いいたします。

第2号議案 令和2年度収支決算について

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	2,812,454	2,491,761	320,693
振替口座預金	0	0	0
定期預金	933,000	923,000	10,000
前払費用	340,000		
流動資産合計	4,085,454	3,414,761	670,693
2. 固定資産			
電話加入権	72,000	72,000	0
商標登録権	40,000	40,000	0
固定資産計	112,000	112,000	0
資産合計	4,197,454	3,526,761	670,693
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	12,650	20,630	△ 7,980
前受金	0	96,000	△ 96,000
流動負債計	12,650	116,630	△ 103,980
2. 固定負債			
退職給与引当金	933,000	923,000	10,000
固定負債計	933,000	923,000	10,000
負債合計	945,650	1,039,630	△ 93,980
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	3,251,804	2,487,131	764,673
負債及び正味財産合計	4,197,454	3,526,761	670,693

正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

単位:円

科 目	当年度(a)	前年度(b)	差 異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入金			
受取入金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	8,160,000	8,280,000	△ 120,000
受取会費(賛助会員)	800,000	850,000	△ 50,000
③ 事業収益			
研修会等収入	498,500	829,000	△ 330,500
クロスチェック参加料	894,000	937,000	△ 43,000
ガスメーター自主検査料	429,000	334,420	94,580
その他の事業収入	403,450	376,400	27,050
日環協中部支部委託事業収入	486,000	713,760	△ 227,760
雑収入	288,416	355,620	△ 67,204
経常収益計	11,959,366	12,676,200	△ 716,834
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	115,180	435,530	△ 320,350
研修会等費	326,123	1,627,402	△ 1,301,279
クロスチェック費	166,533	210,208	△ 43,675
ガスメーター自主検査費	429,000	336,240	92,760
広報活動費	2,112,352	1,567,623	544,729
ブロック活動費	0	229,830	△ 229,830
調査研究費	0	0	0
環境関係行事協賛費	0	54,000	△ 54,000
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	0	0	0
その他の事業費	65,634	26,568	39,066

単位:円

科目	当年度	前年度	差異
② 一般管理費			
給与手当	3,240,000	3,241,250	△ 1,250
福利厚生費	1,071,800	1,038,519	33,281
事務所賃貸料	2,080,716	2,064,951	15,765
水道光熱費	852,630	843,052	9,578
通信運搬費	116,486	149,092	△ 32,606
旅費交通費	38,590	71,980	△ 33,390
印刷費	23,760	65,258	△ 41,498
消耗品費	48,494	72,791	△ 24,297
総会費	116,937	189,317	△ 72,380
その他会議費	54,781	122,190	△ 67,409
事務機リース料	197,725	131,931	65,794
租税公課	71,000	80,150	△ 9,150
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	56,952	44,285	12,667
経常費用計	11,194,693	12,612,167	△ 1,417,474
当期経常増減額	764,673	64,033	700,640
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	764,673	64,033	700,640
一般正味財産期首財産	2,487,131	2,423,098	64,033
Ⅱ 正味財産期末残高	3,251,804	2,487,131	764,673

監 査 報 告 書

一般社団法人愛知県環境測定分析協会
会 長 大 野 哲 様

私たちは、一般社団法人愛知県環境測定分析協会の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における貸借対照表、正味財産増減計算書等の会計書類及び業務について精査し、監査を行った結果、いずれも正確かつ適正であったことを確認いたしました。

令和3年4月13日

一般社団法人愛知県環境測定分析協会

監 事 柴 田 金 作

監 事 金 田 哲 夫

第3号議案 令和3～4年度 役員を選任について

令和3～4年度の愛環協役員を次の方々をお願いしたいと存じますので、ご審議をお願いいたします。

ご承認いただけた場合は、本総会終了後直ちに理事会を開催し、理事の中から会長及び副会長各1名を選任します。

役員	氏名	所属事業所	職名	ブロック
理事	阿部 裕士	株式会社三進製作所	管理本部・部長	第4
理事	糸魚川 広	株式会社テクノ中部	環境事業本部測定分析センター所長	第1
理事	伊藤 諭志	東亜環境サービス株式会社	代表取締役	第1
理事	大寫 雄二	一般社団法人愛知県薬剤師会	生活科学センター所長	第2
理事	大野 哲	株式会社イズミテック	代表取締役社長	第5
理事	大場 恵史	株式会社東海分析化学研究所	取締役副社長	第5
理事	角 信彦	株式会社愛研	代表取締役	第2
理事	濱地 清市	株式会社ユニケミー	代表取締役社長	第1
理事	林 辰哉	一般財団法人東海技術センター	執行理事	第3
理事	林 昌史	株式会社環境科学研究所	代表取締役	第2
監事	金田 哲夫	株式会社環境公害センター	代表取締役社長	第2
監事	柴田 金作	藤吉工業株式会社	執行役員	第3
顧問	河野 達郎	一般財団法人東海技術センター	常務理事	第3

(注) 役員ごとに五十音順 (敬称略)

第1号報告 令和3年度事業計画について

注：以下の事業計画は、従前の「会議形式・集会形式」での開催を前提に作成したものです。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、書面開催又はオンライン開催になる可能性もあります。

1 研修の開催

1 研修の開催

(1) 環境分析技術、法令等講習会の開催

計量法改正等の説明会を開催する。

開催時期

必要に応じ随時

(2) 環境測定分析技術者研修会の開催

ア 環境測定分析新任者研修会（日環協中部支部より受託予定）

開催時期

令和3年6月25日

※ オンライン形式で開催予定

イ 精度管理研修会①【基礎統計コース】（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和3年7月20日

ウ 精度管理研修会②【中堅実務コース】（日環協中部支部より受託予定）

開催時期

令和3年9月7・8日

エ SOP（標準作業手順書）研修会（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和3年10月13日

オ 騒音・振動分野の勉強会

開催時期

令和4年2月（予定）

(3) 環境計量士等研修会の開催（日環協中部支部と共催）

環境計量士を対象として、環境問題に対する認識を深め、新しい分析技術を習得する。

開催時期

令和3年11月17日

※ 開催方法を検討中

(4) 特別企画セミナーの開催（日環協中部支部と共催）

開催時期

令和4年3月（予定）

2 広報活動

(1) 環境保全広報の実施

環境保全の必要性や重要性を県民に広報する。

(2) 会報誌「あいかんきょう」の発行

年4回発行し、協会事業等を会員及び関係者に広報する。

会報誌の発送時に広告チラシを同封するサービスを開始する。

(3) 情報提供

環境測定分析に関して収集した情報を、インターネット等を通じて提供する。

(4) 「愛環協サポーターズ メールマガジン」の運営 不定期

(5) 環境関連事項についての調査

(6) 環境月間講演会の開催 令和3年6月（予定）

3 共同実験（クロスチェック） 2回

分析技術の精度向上のため、会員以外の者も対象として実施する。

また、共同実験参加者による結果検討会を開催する。

第1回 水質関係の測定分析 令和3年 8月（予定）

第2回 大気・臭気関係の測定分析※ 令和3年11月（予定）

4 施設見学会の実施

会員の環境に対する幅広い視野と知識を涵養するために実施する。

5 環境相談窓口

県民からの測定分析その他環境に関する問合せに対応する。

6 関係行政機関行事への協力

(1) 愛知県環境局等の防災訓練に協力連携し、協定に基づく訓練を実施する。

(2) 愛知県環境局と「もりの学舎自然学校」が協力して「モリコロパーク」で行う自然とのふれあい事業に協賛する。

(3) 「高校生ものづくりコンテスト（化学分析競技）」愛知大会※に協力する（試料調製、表彰状作成）。

※ 令和3年5月30日に開催予定（東海大会・全国大会は愛知県外で開催予定）

7 測定済証の発行

定期測定分析事業所に対し測定済証を貼付することにより測定済証の実施の履行を図る。

8 ガスメーター自主検査事業の実施 2回

9 愛環協ホームページの運営 随時更新

10 計量証明書「承認様式」の認証 随時

11 正会員従業員表彰

環境測定分析業務に7年以上勤続の正会員従業員を表彰する。

1.2 喚起標語の募集及び活用

令和3年12月（募集）

環境に関する喚起標語を募集し、優秀作品の作者を定時社員総会において表彰するとともに、最優秀作品は愛環協喚起標語としてポスターを作成し、会員事業所に配付する。

1.3 景況調査の実施

令和4年2月

正会員に対して景況調査を実施する。

1.4 写真コンテスト作品の活用

令和2年度に実施した「第5回写真コンテスト」の入選者を表彰するとともに、応募作品を広報活動に活用する。

1.5 ブロック会議の開催

2回

理事会審議事項の伝達、会員相互の情報交換及び親睦等のため、各ブロック毎又は合同で会議を開催する。

1.6 海外研修生の受入

関係機関・団体からの依頼があれば、研修生を受け入れる会員事業所を募り実施する。

1.7 関係団体との連携協調

(1) (一社)日本環境測定分析協会、同中部支部と研修や共同実験、セミナー等を共催で実施するなど、連携協調を図る。

(2) 「災害時相互応援協定」を締結している7県単※の意見交換会*に参加する。

※ (一社)福島県環境測定・放射能計測協会、(一社)埼玉県環境計量協議会、(一社)神奈川県環境計量協議会、横浜市環境技術協議会、大阪環境測定分析事業者協会、堺市環境計量協議会及び(一社)愛知県環境測定分析協会

* 令和3年度は、10～11月に福島県協会が事務局となって開催予定（2年度は愛環協が事務局となって、オンライン形式で開催）

(3) (一社)愛知県計量連合会、中部環境計量士会と連携協調を図る。

第2号報告 令和3年度収支予算について

令和3年度収支予算 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和3年度予算(a)	令和2年度予算(b)	差 異(a-b)
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
受取会費(正会員)	8,160,000	8,280,000	△ 120,000
受取会費(賛助会員)	1,000,000	1,000,000	0
③ 事業収益			
研修会等収入	1,250,000	1,250,000	0
クロスチェック参加料	1,000,000	750,000	0
ガスメーター自主検査料	330,000	285,000	45,000
その他の事業収入	800,000	800,000	0
日環協中部支部委託事業収入	640,000	640,000	0
雑収入	250,000	250,000	0
経常収益 計	13,430,000	13,255,000	175,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
委員会費	440,000	450,000	△ 10,000
研修会等費	1,650,000	1,650,000	0
クロスチェック費	470,000	550,000	△ 80,000
ガスメーター自主検査費	330,000	285,000	45,000
広報活動費	1,700,000	1,700,000	0
ブロック活動費	340,000	350,000	△ 10,000
調査研究費	0	30,000	△ 30,000
環境関係行事協賛費	55,000	55,000	0
関係団体会費・分担金	0	0	0
環境相談事業費	5,000	5,000	0
その他の事業費	80,000	50,000	30,000
事業費 計	5,070,000	5,125,000	△ 55,000

単位:円

科 目	令和3年度予算(a)	令和2年度予算(b)	差異(a-b)
② 一般管理費			
給与手当	3,260,000	3,270,000	△ 10,000
福利厚生費	1,000,000	860,000	140,000
事務所賃貸料	2,090,000	2,100,000	△ 10,000
水道光熱費	850,000	850,000	0
通信運搬費	140,000	160,000	△ 20,000
旅費交通費	70,000	80,000	△ 10,000
印刷費	50,000	50,000	0
消耗品費	70,000	100,000	△ 30,000
総会費	380,000	250,000	130,000
その他会議費	100,000	100,000	0
事務機リース料	200,000	150,000	50,000
租税公課	70,000	70,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0
雑費	70,000	80,000	△ 10,000
一般管理費 計	8,360,000	8,130,000	230,000
経常費用計	13,430,000	13,255,000	175,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産	0	0	0
一般正味財産期首財産	3,052,531	2,487,131	565,400
II 正味財産期末残高	3,052,531	2,487,131	565,400

科目間の流用を認める